

環境・上下水

化学物質によるリスクを減らすための環境施策を

日向美砂子議員(緑ネ) ①公共施設の管理維持に、都の化学物質の子どもガイドラインをどう生かしているか。

②合成洗剤を減らすため、石けんを積極的に利用しては。

③環境基本計画に指針等の形で、石けんの利用推進を位置づけられないか。

市長 ①害虫駆除対策等のマニュアルとして活用している。

②小学校の給食用食器洗浄や庁舎、地域センター等の手洗いでは通常石けんを使用している。

③研究したい。

天神町二丁目のフットサル場の騒音等の問題解決のために

虹川 浩議員(公明) ①事業者に行なった指導の内容は。

②地域住民に聞き取り調査を行うべきでは。

③問題解決に向けて、事業者と地域住民との話し合いの場の設定や仲立ちをすべきでは。

市長 ①アイドリリングストップ等の看板の設置や、従業員による巡回で騒音を防ぐ指導をした。

②現在のところ、調査を実施することは考えていない。

③話し合いの場の提供は可能だが、既に仲立ちはしており、改めて行う考えはない。

再び、立川市清掃工場の移転問題と小川橋の改善について

立花隆一議員(公明) ①小平市民を含む周辺住民と立川市で

行われた話し合いの内容は。②この1年間、立川市とどのような話し合いをしてきたか。

③小川橋の改善策は。

市長 ①平成20年中の移転は無理との回答があり、広域処理等の話し合いをしたと聞いている。

②必要に応じて情報交換し、周辺環境調査測定結果や代表者会議の情報を得ている。

③都からは、改良を検討しているが交通管理者等との協議などが整っていないため、実施時期は未定と聞いている。

小平・村山・大和衛生組合 3市共同資源化事業の今後

橋本久雄議員(緑ネ) ①組合と共同で周辺住民以外の市民に説明会を実施できないか。

②対象となる6品目は計画も含め各市独自に資源化しているから、施設を建設する必要はないという意見があるがどうか。

市長 ①具体的な資源化の統一基準等、計画内容がはっきりした段階で、住民説明会等の機会を設けて理解を得る必要があると考える。

②3市間の資源化のアンパランスの改善やコストの低減等、十分にメリットがあると考ええる。

福祉

小平市福祉のまちづくり条例の見直しについて

苗村洋子議員(緑ネ) ①民間施設のバリアフリー化を条例との関係でどのように総括するか。

②法律や都条例との関係で、条例をどう認識しているか。

③福祉のまちづくり推進計画が果たす役割は。

市長 ①条例に基づく届け出が提出された事業者への指導に努めており、バリアフリー化の浸透に必要な役割を担っている。

②都の動向等を注視して、整合性を保った見直しをしたい。

③だれもが住みよい町の実現のために、ハード面とソフト面のバリアフリー化を推進したい。

高齢者の孤独死ゼロを目指す

木村まゆみ議員(共産) ①民生委員が把握していない高齢者の情報を把握する方法は。

②警察で変死扱いになった65歳以上の死亡者数は。

③見守りネットの活用は。

市長 ①支援が必要な高齢者の多くは、地域の社会資源によるサービス提供等の際に実態として把握されている。

②小平警察署での統計はなく、把握されていない。

③現在取り組みは行っていないが、今後見守り体制の再構築の検討を行う。

在宅高齢者のための緊急通報システムを確立しよう

虹川 浩議員(公明) ①緊急通報システムの検討状況は。

②各種サービスの利用者が減少しているが改善策は。

③各種サービスを進める上で問題点は。

市長 ①民間の警備会社などを通報先とした方法等、他市の実施状況を研究している。

②高齢者訪問給食サービスの

負担軽減対象者の範囲を拡大し、より多くの人が利用しやすいように改善した。

③サービスの提供方法、体系的な体制、仕組みの整備や周知方法等が問題ととらえている。

認知症になっても地域の中で暮らせる支援の仕組みを

立花隆一議員(公明) ①認知症高齢者に特化した介護保険サービスに対する分析は。

②今後の認知症ケアと、本人や家族への支援は。

③地域が一体となって支えていく地域づくりへの取り組みは。

市長 ①グループホーム等の施設は高い利用率であり、ニーズも高まっていると分析している。

②早期発見する機会をつくり、家族介護教室等を実施していく。

③認知症サポーター養成講座を実施し、養成を進めていく。

障がい者就労支援の現状と今後の展望について

滝口幸一議員(フオ) ①障害者就労・生活支援センターの事業実績の推移は。

②センターの事業拡大に伴って、職員が不足していると聞か、今後どうするのか。

③障がい者就労生活支援センターは、今後どうするのか。

③市役所内における職場実習の展望は。

市長 ①本年度上半期の実績は大きく伸びている。

②人員配置を含めて計画的に機能を強化していく。

③実習日数や受け入れ課を拡大し、就労支援と職員の障害理解の啓発を推進していく。

介護給付費準備基金6億円で小規模多機能型施設新設等を

木村まゆみ議員(共産) ①基金を活用し、小規模多機能型施設を新設しては。

②介護保険利用料減額免除制度をさらに充実すべきでは。

③介護保険の充実が困難な元凶は国庫支出金の削減にあると考えるが認識は。

市長 ①基金は保険料収入の財源調整のため設置しているので、保険料の負担軽減を図りたい。

②独自の変更は考えていない。

③国の負担のうち5%相当の調整交付金は満額交付されるべきものであり、市長会を通じて毎年都と国に要望している。

障害者福祉センターでの給食の実施について

橋本久雄議員(緑ネ) ①将来的に障害者施設に給食を提供する体制を検討する考えは。

②あおぞら福祉センター設立時に、障害者福祉センターへの給食の提供を検討したか。

③センターへの給食提供は。

市長 ①すべての施設に提供することは考えていないが、配食サービスのあり方については研究したい。

②検討したが、都の指導により実現しなかった。

③通所者のニーズを把握した上で、検討したい。

元気高齢者の生きがいがづくりに高齢者ボランティア制度導入を

山岸真知子議員(公明) ①介護予防事業普及への評価は。

②元気高齢者に対して、健康増進を図る施策を提供しては。

③(仮称)介護ボランティア制度の検討状況は。

市長 ①介護予防教室の利用者が年々伸びていることから、着実に進んでいると考ええる。

②介護予防教室や介護予防講座をさらに検討していく。



介護予防教室

掲載分以外の質問項目

【都市整備】 ・にじバスの鷹の台駅までの延伸やコミュニティタクシーの未実施地区での検討について

【教育・文化】 ・校庭芝生化の現状をどのように把握し、課題にどう対応するのか

【環境・上下水】 ・立川市清掃工場移転問題に市はどう対応するのか

市議会1年間の記録(平成20年1月~12月)

Table with 5 columns: 名称, 会期, 本会議日数, 会議時間, 傍聴人数. Rows include 3月定例会, 6月定例会, 9月定例会, 12月定例会, and a total row.

Table with 9 columns: 前年からの継続分, 受理, 採択, 不採択, 取り下げ, 審議未了, 継続審査, 文書表付, 文書配. Rows include 請願, 陳情, and a total row.

Table with 5 columns: 委員会名, 開催日数, 会議延時間, 傍聴人数, 視察調査回数. Rows include 総務委員会, 生活文教委員会, 厚生委員会, 建設委員会, and a total row.

Table with 5 columns: 委員会名, 開催日数, 会議延時間, 傍聴人数, 視察調査回数. Rows include 都市基盤整備調査, 産業活性化調査, 小平市自治基本条例, and a total row.

*宿泊を伴う行政視察は除く

*宿泊を伴う行政視察は除く